

精神状態短時間検査に見られるアルツハイマー病者の の発話特徴分析 (研究の進捗発表)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 吉井, 謙太, 西村, 雅史 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027464

精神状態短時間検査に見られるアルツハイマー病者の発話特徴分析

吉井謙太(情報学専攻), 西村雅史 (学術院情報学領域)

日本は世界に類を見ない超高齢社会であり、認知症が深刻な問題となっている。認知症は早期発見し適切な治療を開始することにより進行を抑制・改善することが可能であり、早期発見が大変重要である。認知症者の簡易スクリーニングを目的として、会話音声から認知症者の特徴を見出し早期発見に役立てるという試みが報告されている。

今回、世界で最も活用されている認知症スクリーニングテストである、MMSE(Mini-Mental State

Examination)を心理士が高齢者に対して行った音声データを分析した。本研究では、短期記憶能力低下に着目し、これに直接的に関係する MMSE の検査項目として質問 3 (3 単語の記憶)、質問 5 (3 単語の遅延再生) における応答について調査した。3 単語の遅延再生において、短期記憶能力が低下しているという傾向を改めて確認したと共に、健常者においてフィラーの増加、回答時間が長くなるという傾向を確認した。